



緑の風



冬休みの思い出



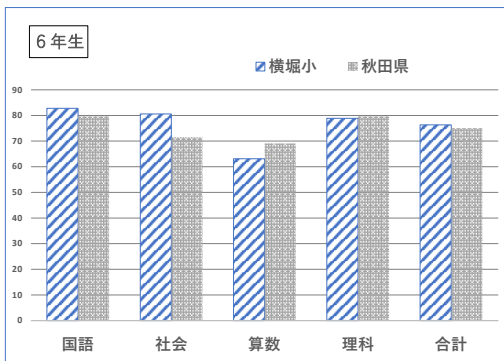
学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
 ～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～



“秋田県学習状況調査” 結果発表！

12月に実施した4～6年生の学習状況調査について、概要をお知らせします。グラフは県の平均（右）と比較した本校の平均です。三つの学年全てが県平均を上回っています。そして、5年生と6年生は、昨年よりも大幅に点数が上がっています。

個人別の成績等については、1～3年生で実施した学力テストも含めて、2月のPTA学級懇談でお渡しします。



卒業まで算数に全集中して、中学校での数学にスムーズに入っていく準備が必要です。

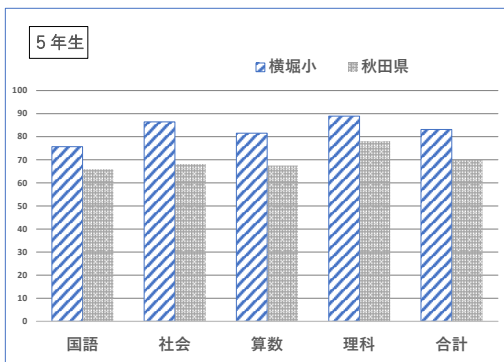
【6年生】

昨年までは、2年連続で全教科平均以下だったのに、6年生になったら、文系の国語と社会科で平均を上回り、合計でも県平均を上回るという快挙でした。

国語と社会では、9割程度の子どもがとっても多くいるので、平均がぐ～んと上がっています。理科では7割、算数では4割ちよっとのところにピークがあるので、全体の平均は落ちています。

国語では「読み取り」や「作文」、理科では「記述」の問題で苦戦しました。「書くこと」をいとわずに、さらなる伸びに期待します。

算数は、オールラウンドで苦手です。7割を超えている子どもが学級の1/3なので、多くの皆さんは、



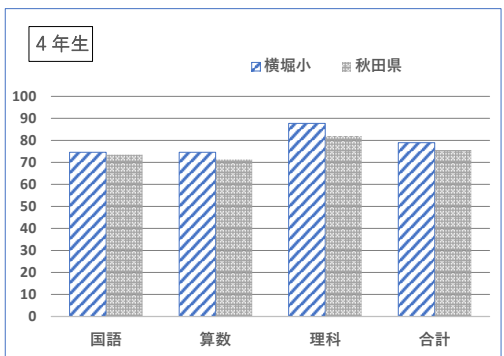
【5年生】

全ての教科で県平均を大きく上回っています。また、4年生のときと比較しても、全教科で大きく平均点が伸びています。

しっかりと満点を取りきる力が付いている子どもが増えました。また、半分未満の点数の子どもがいなくなるのが最大の強みかと思えます。国語の「ことわざ」「修飾語」や、理科の「天気図」が苦手なようです。

9人で「ことわざ」教え合い、学び合いながら授業で力を付けて、家庭学習の内容も充実している成果がはっきりと成長として表れています。

よりハイレベルへの挑戦を楽しみ続ける最高学年に、レッツ・ゴー！



【4年生】

全ての教科で県平均を上回っています。国語は満点、算数と理科では1問だけまちがいの子どもが多いのが特徴です。

算数よりも国語が苦手な子どもが多く、5年生と同じで、「ことわざ」や「修飾語」などの言葉の勉強がやや弱い傾向にあります。

春からは5年生です。これまで以上に「読む力」や“考える力”も大事になるし、学習量がものすごく増えてきます。

将来につながる高学年の学習に向けて新しいスイッチをオンにしてレベルアップを！

これから先生方が、ていねいに分析して、学年のしめくりとしてレベルアップを図っていきます。各ご家庭からの“強力な協力パワー”によって、一人一人の子どもたちに、きちんと確かな力を身に付けていきたいと思えます。一緒にラストスパートをがんばりましょう。

秋田県学習状況調査 質問紙の結果 全体○ ちょっぴり△!

こちらは、勉強に対する感じ方や考え方をアンケートのように回答した結果です。全体としては、全回答の平均値が95.5%というものすごくよい結果です。子どもたちは勉強に対して真面目で前向きに取り組んでいることがわかります。何よりも、全員が「楽しい学校」に100%の評価です。この1年間の横堀小学校が、「“楽笑”な学校」であったことを証明しているようです。(☆が100%のもの)昨年までは、90%以上の項目を紹介しましたが、全てが90%以上と言ってよい結果に驚きながら、日常の様子からも「んだよなあ」と納得しています。今回は、ハードルを上げて、95%以上のものをご紹介します。

- ①勉強が好きだ
- ☆②勉強は大切だ
- ③学校の勉強がよく分かる
- ④普段の生活や社会に出たとき役立つように勉強したい
- ☆⑤学校が楽しい
- ⑦将来の夢や目標を持っている
- ⑧学校のきまりを守っている
- ⑨人の役に立つ人間になりたい
- ⑩地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う
- ⑪普段の授業では、授業の目標(めあてなど)を立てて取り組んでいる
- ☆⑫普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいる
- ⑬普段の授業で自分の考えを深めたり広げたりすることができる
- ⑭普段の授業では、見直しをして次の学習につなげている
- ⑮国語の勉強が好き ⑯社会の勉強が好き ⑰理科の勉強が好き ⑱体育の勉強が好き



各学年の目立ったよさと課題は、次のとおりです。学年の色合いの違いが鮮明です。

【6年生】○全員が「当てはまる、はい」という100%回答が8/24。
 「社会に出たとき役に立つよう勉強したい」や「人の役に立つ人間になりたい」など、全員が将来を見据えた考え方をもっています。また、9割の子どもが毎日1時間以上、着実に家庭学習に取り組んでいます。
 ▲「自分にはよいところがある」が75%で1番低いです。
 「読書量」が少ない子どもも多いようです。

【5年生】○100%回答が20/24。授業に関する「めあて、話し合い、考えを深める、見直し」や「自分にはよいところがある」が100%です。「ICTを毎日活用」しているのも100%です。
 ▲「読書量」では、11冊を超える子が、県では20%近いのに対して、0%

【4年生】○100%回答は8/24。「学校の勉強がよくわかる」や「将来の夢や目標を持っている」は、全員がはっきりと「当てはまる」と回答しています。
 ▲「読書が好きだ」が83%。

平日と土日の勉強量に関する回答を一覧にしました。

	4年生		5年生		6年生	
	平日	土日	平日	土日	平日	土日
30分以下	1	0	0	1	0	0
30分から1時間	18	7	5	4	2	5
1時間から2時間	3	11	4	2	18	12
2時間から3時間	0	4	0	2	0	3
3時間以上	1	1	0	0	0	0

ご家庭のご協力のもとで進めている「家庭の家庭学習」がだいぶ定着していますが、「30分以下」の子どもや、5年生以上で「1時間未満」が気になります。概ね良好ではありますが、秋田県の4年生以上のおよその姿は次のようになります。

高学年になると、半分以上の子どもが「平日は1時間以上」勉強していて、5年生で1/4、6年生で1/3が「休日は2時間以上」勉強しています。

このことは、SNSの利用やゲーム等の時間との関連も深いものと考えます。私は、これまでの経験から、**5年生の段階の学力が高校入試にストレートにつながる**と考えています。進学と進級まで残りわずかの今だからこそ、子どもの“夢”と“次につながる学習”について語り合ってみてはいかがでしょうか？